

## 平成 26 年度における永生会南多摩病院リハビリテーション科の取り組み

医療法人社団永生会南多摩病院リハビリテーション科

井出 大、大淵康裕、今村 渉

### 【はじめに】

平成 26 年度より当院は DPC が導入され変革の 1 年となった。当リハビリテーション科においても運営体制強化および質向上に努めた 1 年であり、ここに当院概要および平成 26 年度の活動の概要について報告する。

### 【南多摩病院の概要】

当院は JR 西八王子駅徒歩 1 分の地にあり、許可病床数 170 床の 2 次救急医療機関である。DPC 運用病院であり現在の平均在院日数は約 12 日となっている。リハビリテーション提供体制は理学療法士 21 名、作業療法士 5 名、言語聴覚士 6 名の総勢 32 名で施設基準は脳血管 I、運動器 I、呼吸器 I、心大血管 I、がんとなっている。また平成 26 年 12 月から八王子市医師会の病院救急車を利用した地域高齢者搬送システムを当院病院救急車の活用で稼働させた。

### 【平成 26 年度の主な取り組み】

- 1) 土曜日祝日のリハビリテーション提供体制の強化および日曜日の稼働開始  
本取り組みの開始に向け昨年度と比較し 5 名の療法士を増員した。
- 2) 入院・外来におけるリハ実施延べ人数の増加（4 月～1 月の期間での前年度との比較）  
今年度のリハ実施延べ人数は外来では 7,709 名（2,611 名増）、入院では 37,463 名（12,795 名増）であった。
- 3) 院内デイケア（みなみな会）の拡充と効果判定  
院内デイケアは医療処置目的での身体拘束の代替え手段の選択肢の一つとして、さらに行動制限に伴う耐久性、身体機能、精神機能、ADL 機能の低下を予防すること、また集団活動における社会性の維持を目的に実施しているが、今年度はさらに拡充した。
- 4) 心臓リハビリテーションカンファレンスの開始  
理学療法士と看護師のみで構成された心臓リハビリテーションチームに 2014 年 9 月から循環器医師と管理栄養士が加わり、カンファレンスを隔週に 1 度行うことで、多職種協働による心臓リハビリテーションを進めていく体制となった。
- 5) 透析科からの処方数の増加  
昨年度の処方数は 31 例であったが、今年度は 81 例と増加した。
- 6) 病棟担当制の強化
- 7) 院内外における教育研究活動の充実  
院内では新卒者に対する教育を拡充し、法人内、当科独自の研修プログラムを計 32 回実施した。また当科全体勉強会、病棟班別勉強会も各々月 1 回の頻度で実施した。学術集会、研究会における演題発表は 17 演題（前年度比 5 演題増）、院外での講演・講義は計 16 件（6 件増）、当科スタッフが行った。また臨床実習生の受け入れは関東圏内の大学・専門学校を中心に PT では 9 校 18 名、ST では 1 校 1 名を受け入れた。